

JEITA LPB-SC LPB Forum2021TG

活動報告

半導体&システム設計技術委員会
LPB-SC

LPB Fourm2021TG 概要

- 目的
 - ・ 2021年度LPB Forumの準備・運営
- 期間
 - ・ 2021/12/10～2022/04/08
- 成果物
 - ・ LPB Forum(Web)の開催
 - ・ アンケート集計

活動スケジュール

準備期間約3か月

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
LPB-SC		▲(6/25)			▲(9/3)	▲(10/22)			▲(1/7)		▲(3/4)
ライブラリTG		▲(6/5)	▲(7/2)	▲(8/6)	▲(8/27)	▲(9/8) ▲(10/1) ▲(10/15)		▲(12/10)		▲(1/21) ▲(2/4)	(4/8)
イベント					▲(9/17) LPB フロントローディング ワークショップ 2021		▲(11/8) JEVeC				▲(3/4) 第14回フォーラム
■ イベント								プログラム案作成(12/10) → 決定(1/?) 石崎さんに施設確認。懇親会 → 開催方法決定(1/7) → 当日の役割分担 → Web受付開始(2/10) → アンケート案作成(2/18) → 発表資料公開(3/4) → お礼+アンケートのメール配信(3/7週) ▲			▲受付締め切り(3/2) ▲登録者に接続先連絡(3/3)
■ 広報								▲(HP作成) メルマガ → 2/10		▲(2月Web予約開始) 3/2	

第14回LPB Forum開催概要

- ・ 開催日時 : 2022年3月4日 (金) 14:00～17:00
- ・ セミナ方式 : ウェビナー WebEx
- ・ 配信会場 : リモート(それぞれの拠点)
- ・ 申込者 : 51名 (一般29名/委員22名)
- ・ 参加者 : 51名 (一般29名/委員22名)

プログラム	発表者	タイムスケジュール
(1) 開催にあたって	福場さん	14:00～14:10
(2) IEEE2401-2019の改訂に向けた検討状況報告	大塚さん	14:10～14:30
(3) SerDesのイミューニティーモデルとその活用	野村さん	14:30～14:50
(4) 標準化をめざしたDCDC電源回路のビヘイビアモデルの検討	坂田さん	14:50～15:10
休憩		15:10～15:20
(5)【招待講演+ディスカッション】 超高速インターフェースの信号解析技術に求められるインターコネクトモデルとは？	発表 FICT：切中さん 担当：眞篠さん	15:20～17:00

ウェビナー概要

- LPB Forumは参加者との議論するため双方向で会話可能なWebExを使用。

項目		フロントローディングWS
Web会議システム	システム名	Webex
	契約	JEITA 所有のライセンス
	発表	発表者のみ可能
	発言	全員可能
配信会場		全員リモート
配信方法	生配信	5件
	録画	0件
質疑応答	質問	音声
	回答	音声
アンケート		Google formsに投稿

フロントローディングWSの反省

キーワード	コメント
Webex	<ul style="list-style-type: none">・使い慣れた会議システムのためトラブルなく使用できた。・運営が全員リモートでも開催が可能。・リアルタイムで質疑応答できた。・Webの方が参加しやすく、ありがたい(アンケートから)・Webなら参加できる。(アンケートから)・深い議論はF2Fも欲しい。(アンケートから)・リアル＋ハイブリッドの場合、リアル会場が中心で議論が進んでしまうだろう。
Google forms (アンケート)	<ul style="list-style-type: none">・アンケート回答26名。 後日記入依頼メールでの効果あり。・URLが社内環境からアクセスできない事例はQRコードで対処できた。・会社によっては社内でカメラ機能が使えないところもある。・LPBのHPでも仕組み作りは必要だが、アンケート作成は可能。・設問 Q5. 本フォーラムはどこで知りましたか？の回答に「委員」の選択肢があるとよい。
リハーサル	<ul style="list-style-type: none">・フォーラム開始30分前に音声・画面共有可能かを確認。・WebExだけなら当日で大丈夫だろう。・ハイブリッド開催の場合、現地でのリハーサルは一度必要だろう。

フロントローディングWSの反省

キーワード	コメント
当日の配信について	・全員リモートであったが、大きなトラブルなく配信出来た。
発表者	・ディスカッションでは参加者の名前を見て指名した。現地でやる場合は参加者の表情見ながら指名ができる点ではメリットがある。
ディスカッションセッション	・事前にシナリオを作成と、意見いただきたい方に質問の回答を準備いただけたため、円滑な進行ができた。 ・ファシリテータはお見事だった。 ・シナリオを資料に起こされており、参加者も議論の方向性がわかりやすかった。
公開資料のURL	・事前に資料を公開できた。

アンケート実施方法・回答数

- Google Formsを使いアンケートを実施。
- 回答率は一般参加者は72%程度。
第13回の48%に比べると回答率は高い。
- 後日メールで回答をお願いしたため回答率は少し上がった。

	第14回 フォーラム			(参考)第13回 フォーラム		
	回答数	参加者	回答率	回答数	参加者	回答率
一般参加者	16名	22名	72%	18名	37名	48%
JEITA委員	10名	29名	34%	18名	32名	56%
合計	26名	51名	51%	36名	69名	52%

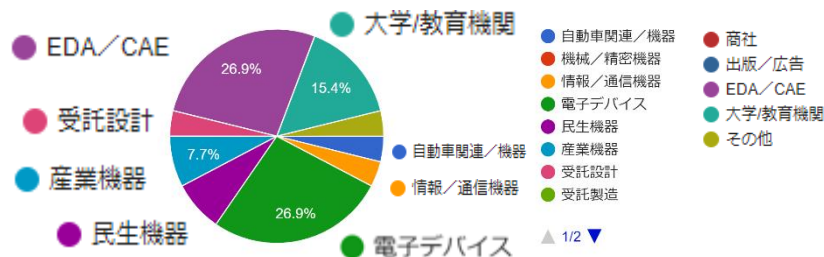
アンケート結果

Q1. あなたの業種について(1つお選び下さい)

第14回

Q1. あなたの業種について(1つお選び下さい)

26 件の回答

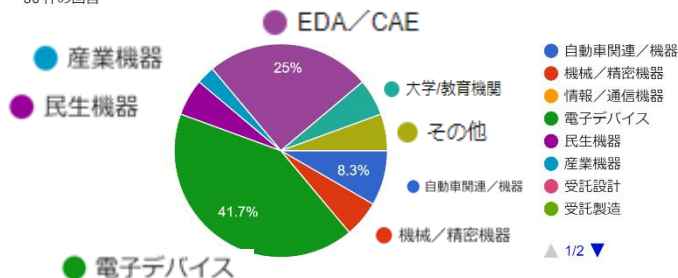


電子デバイス・EDA/CAEが約5割を占める。

(参考)第13回

Q1. あなたの業種について(1つお選び下さい)

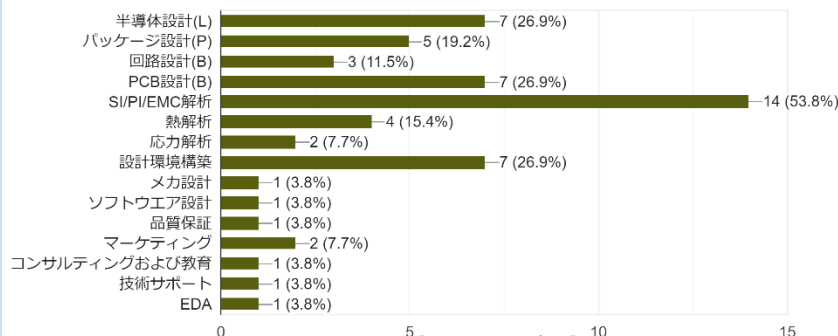
36 件の回答



Q2. あなたの職種について(該当するものを全てお選び下さい)

Q2. あなたの職種について(該当するものを全てお選び下さい)

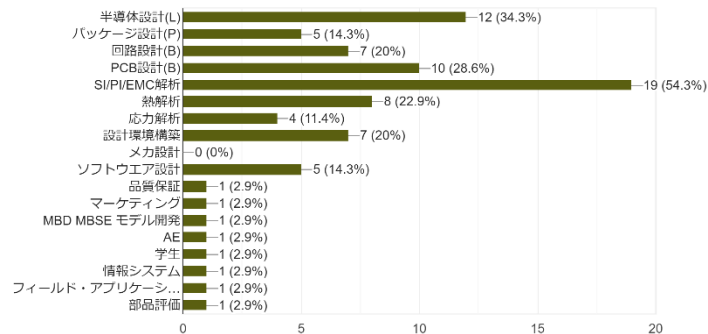
26 件の回答



SI/PI/EMC解析の割合が高い。

Q2. あなたの職種について(該当するものを全てお選び下さい)

35 件の回答



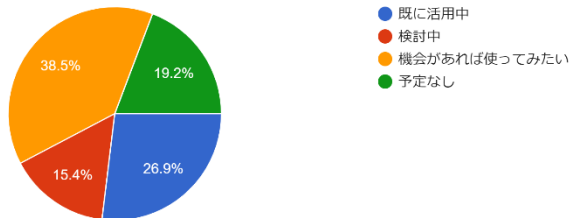
アンケート結果

Q3. あなたのLPBフォーマット活用状況について(1つお選び下さい)

第14回

Q3. あなたのLPBフォーマット活用状況について(1つお選び下さい)

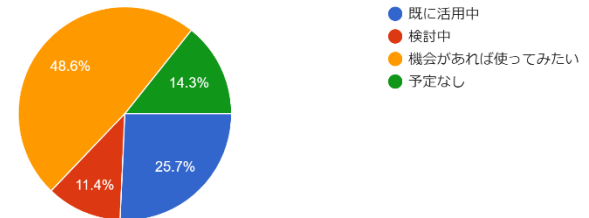
26 件の回答



第13回

Q3. あなたのLPBフォーマット活用状況について(1つお選び下さい)

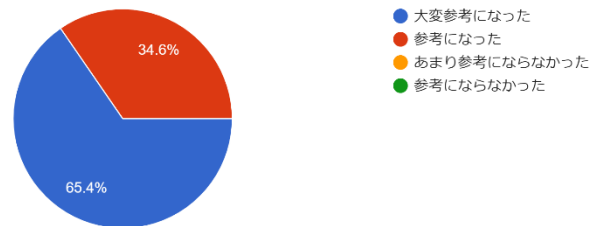
35 件の回答



Q4-1. 本フォーラム全般について(1つお選び下さい)

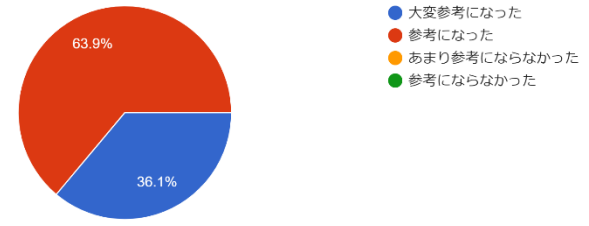
Q4-1. 本ワークショップ全般について(1つお選び下さい)

26 件の回答



Q4. 本フォーラム全般について(1つお選び下さい)

36 件の回答

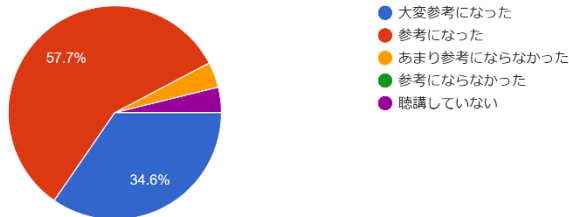


アンケート結果

Q4-2. 各発表について(1つお選び下さい)

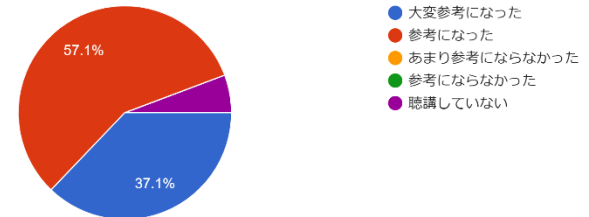
第14回

Q4-2. IEEE2401-2019の改訂に向けた検討状況報告について(1つお選び下さい)
26 件の回答



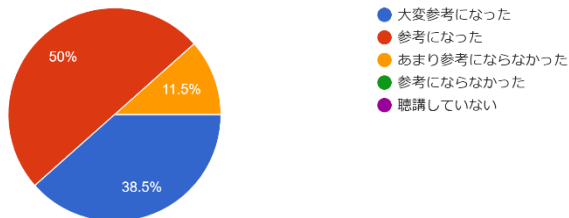
第13回

Q5-1. LPBフォーマット国際標準改訂・普及・教育活動について(1つお選び下さい)
35 件の回答

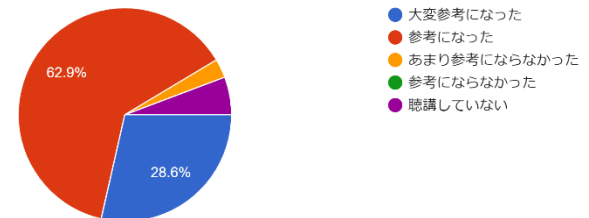


Q4-3. 各発表について(1つお選び下さい)

Q4-3. SerDesのイミュニティーモデルとその活用について(1つお選び下さい)
26 件の回答



Q5-2. CR-8000 Design Force LPBフォーマット対応の拡張(1つお選び下さい)
35 件の回答

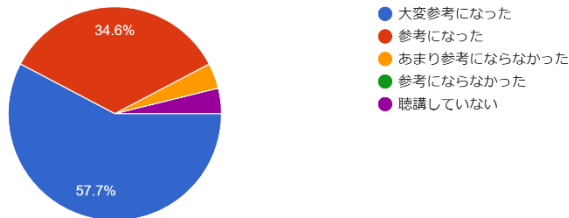


アンケート結果

Q4-4. 各発表について(1つお選び下さい)

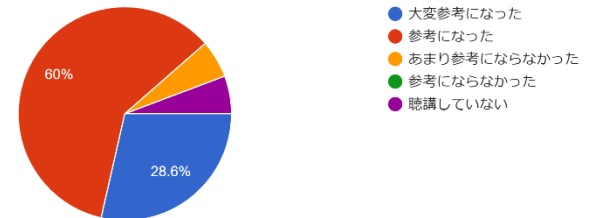
第14回

Q4-4. 標準化をめざしたDCDC電源回路のビヘイビアモデルの検討について(1つお選び下さい)
26 件の回答



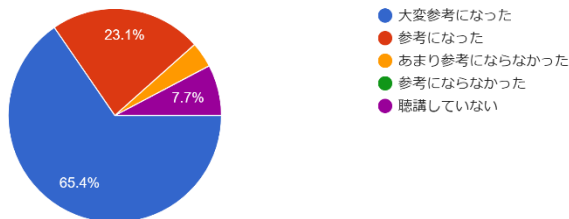
第13回

Q5-3. LPBフォーマット交換サイト gem-lpb.com のご紹介(1つお選び下さい)
35 件の回答



Q4-5. 各発表について(1つお選び下さい)

Q4-5.
【招待講演+ディスカッション】超高速インターフェ...ネクトモデルとは? について(1つお選び下さい)
26 件の回答



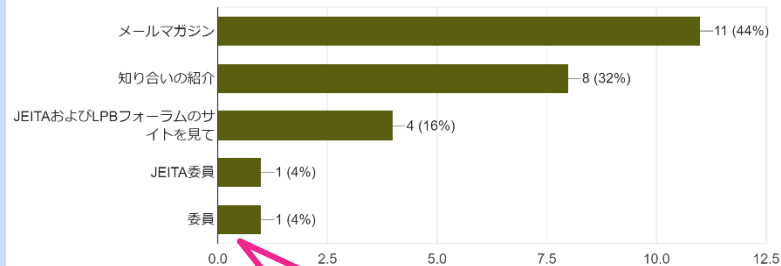
アンケート結果

Q5. 本フォーラムはどこで知りましたか？（1つお選び下さい）

第14回

Q5. 本ワークショップはどこで知りましたか？（1つお選び下さい）

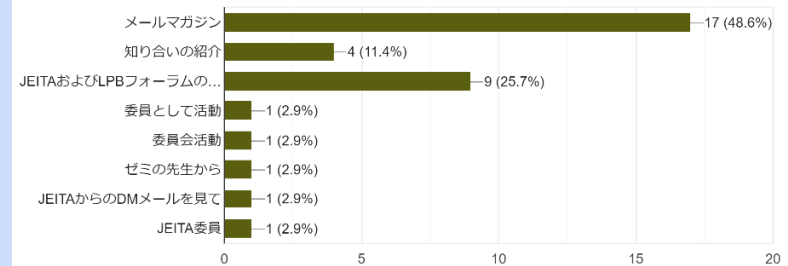
25 件の回答



第13回

Q6. 本フォーラムはどこで知りましたか？（1つお選び下さい）

35 件の回答



選択肢に委員があったほうがよい

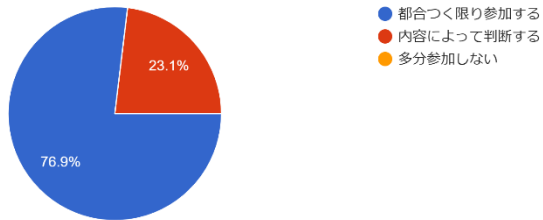
アンケート結果

Q6-1. 次回も参加したいですか？（1つお選び下さい）

第14回

Q6-1. 次回も参加したいですか？（1つお選び下さい）

26 件の回答



第13回

Q6-2. 次回何を取り上げて欲しいですか？

Q6-2. LPBフォーラムでディスカッションしたい内容がありますか？ご自由にお書きください

3 件の回答

本日の講演でもありましたが、モデルを用いた設計での困りごとや課題をご紹介いただき、どう解決するのが良いかといった議論ができると有難いです。

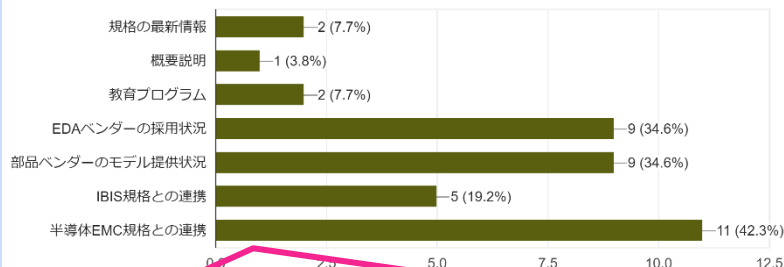
IBISモデルに関する議論は引き続きよろしくお願いいたします

電磁界シミュレーションのポートの設定方法など、とても参考になりました。

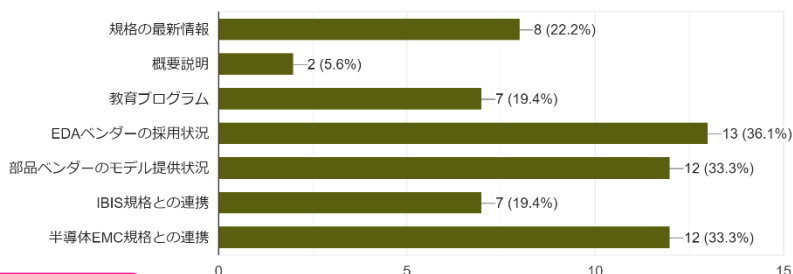
アンケート結果

Q7-1. 次回のLPBフォーラムで何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選び下さい)

Q7-1. 次回何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選び下さい)
26 件の回答



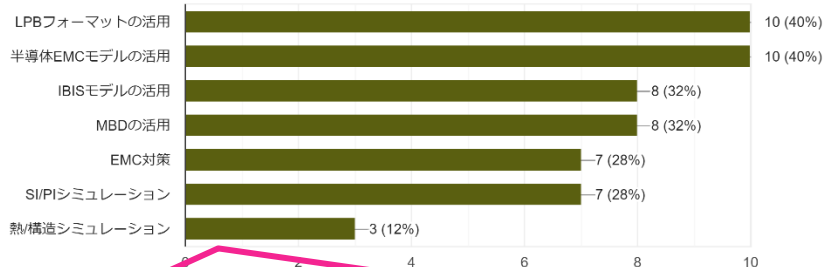
Q8-1. 次回何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選び下さい)
36 件の回答



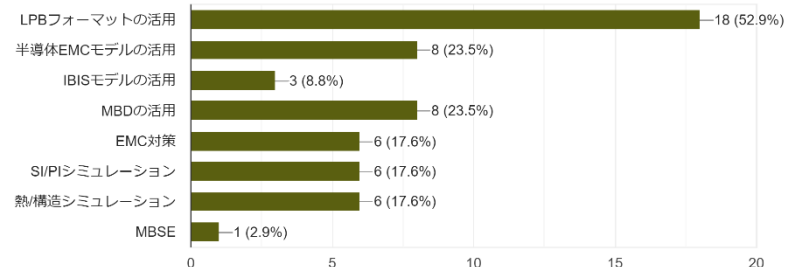
複数個選択可能になっていた→1つに限定する

Q7-2. 次回のLPBフォーラムで何を取り上げて欲しいですか？(活用事例に関して1つお選び下さい)

Q7-2. 次回何を取り上げて欲しいですか？(活用事例に関して1つお選び下さい)
25 件の回答



Q8-2. 次回何を取り上げて欲しいですか？(LPBフォーマットに関して1つお選び下さい)
34 件の回答



複数個選択可能になっていた→1つに限定する

アンケート結果

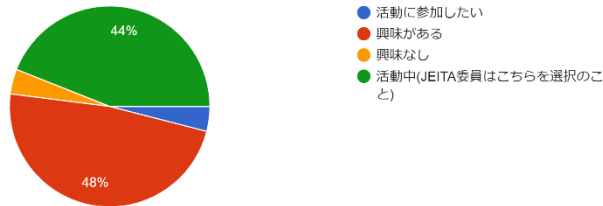
Q8. JEITA 半導体&システム設計技術委員会の活動に興味がありますか？

第14回

Q8. JEITA

半導体&システム設計技術委員会の活動に興味がありますか？（1つお選び下さい）下さい

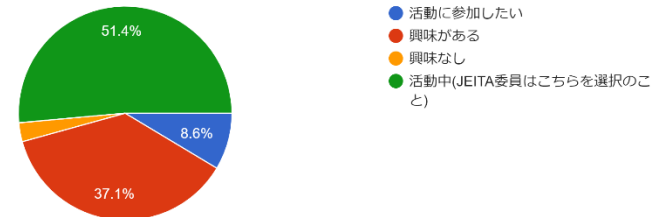
25 件の回答



第13回

Q9. JEITA 半導体&システム設計技術委員会の活動に興味がありますか？（1つお選び下さい）

35 件の回答



「活動に参加したい」はJEITA委員による回答

アンケート結果

Q9. 本活動に期待すること、本フォーラムで興味あった内容、もっと詳しく知りたい内容などご自由にお書き下さい。

大学の先生などにSパラの連結とポートの立て方について教科書レベルの解説を聞けたら良かったと思いました。

PKG、プリント基板の3Dモデル化の今後

今回参加してみて、IBIS Summitよりは多様な意見があり、参考になることが多かったと思います。また、JEITAの関連委員会も参加され、幅広い情報提供（日本でもSimモデルの仕様化に取り組んでいるところがあるというのを初めて知りました）があり、このようなやり方を今後も続けていってほしいと思いました。最後に、眞篠さん、筒井さん並びにLPB委員の皆様、準備、進行大変お疲れさまでした。また、今回、参加の機会をお与えいただきました福場さん、大変感謝しております。

他の活動とのリンクを作っていこうと思います

他のSC・規格との連携の状況。

アンケート結果

Q10. Webでの開催についてご意見があればお願いします

参加しやすく、良いと思います。

今後も選択できるようにしてほしい

参加しやすさは有ります。深い議論はf2fも欲しいですね

移動時間等が無く参加しやすいのはありがたいです。一方で今回は途中で急ぎの業務が入り退席させていただきました、すみません。会場に集まっての開催では起こらないとは思いますが、運悪くこのようなこともあります。トータルではWeb開催のメリットが勝つと思います。

良いと思います

WEB開催でしたら参加できます。